

| 今月の不動産経済 (2022年6月)

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数 (DI) <sup>*1</sup>	45.9 p	1.2 p ↗
		前年同月比
不動産業の倒産状況 <sup>*1</sup>	25 件	25.0 % ↗
負債総額 <sup>*1</sup>	4,473 百万円	53.2 % ↗

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 <sup>*2</sup>	74,596 戸	△ 2.2 % ↘
持家	23,184 戸	△ 11.3 % ↘
貸家	30,285 戸	1.6 % ↗
分譲	20,692 戸	4.1 % ↗
内マンション	7,855 戸	11.8 % ↗

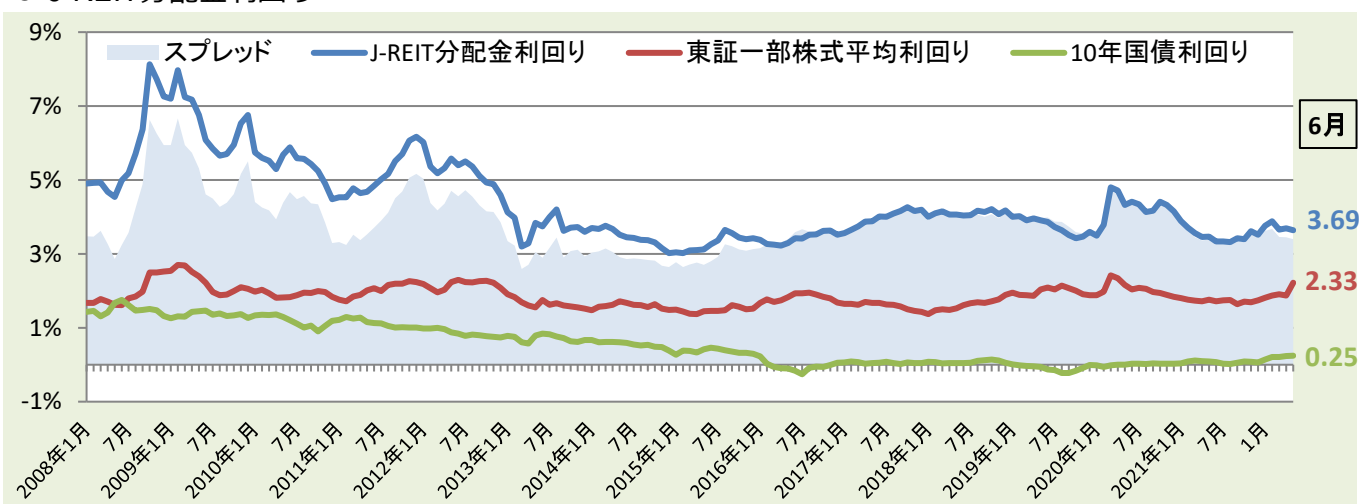
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数 (首都圏) <sup>*3</sup>	1,917 戸	△ 1.1 % ↘
[契約率]	[67.7%]	△ 4.8 p ↘
平均価格	6,450 万円	3.8 % ↗
新築・供給戸数 (近畿圏) <sup>*3</sup>	1,261 戸	△ 27.2 % ↘
[契約率]	[70.3%]	△ 2.9 p ↘
平均価格	4,422 万円	△ 3.3 % ↘
中古・成約件数 (首都圏) <sup>*4</sup>	3,022 戸	△ 7.8 % ↘
平均価格	4,231 万円	9.2 % ↗
[㎡単価]	[67.0万円]	12.7 % ↗
中古・成約件数 (近畿圏) <sup>*4</sup>	1,472 戸	△ 5.1 % ↘
平均価格	2,708 万円	8.7 % ↗
[㎡単価]	[39.2万円]	8.0 % ↗

● オフィス市場の動向

		前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)
オフィス賃料 (都心5区) <sup>*6</sup>	20,273 円	△ 4.2 % ↘
オフィス空室率 (都心5区) <sup>*6</sup>	6.39 %	0.02 p ↗

● J-REIT分配金利回り<sup>\*7</sup>



不動産業の業況感は前月比 1.2p改善の 45.9pとなった。4ヶ月連続で改善。

新設住宅着工数は、2ヶ月連続で前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 1.1%減 (2ヶ月連続で減)。契約率は 67.7%。平均価格は同 3.8%上昇 (2ヶ月連続で上昇)。

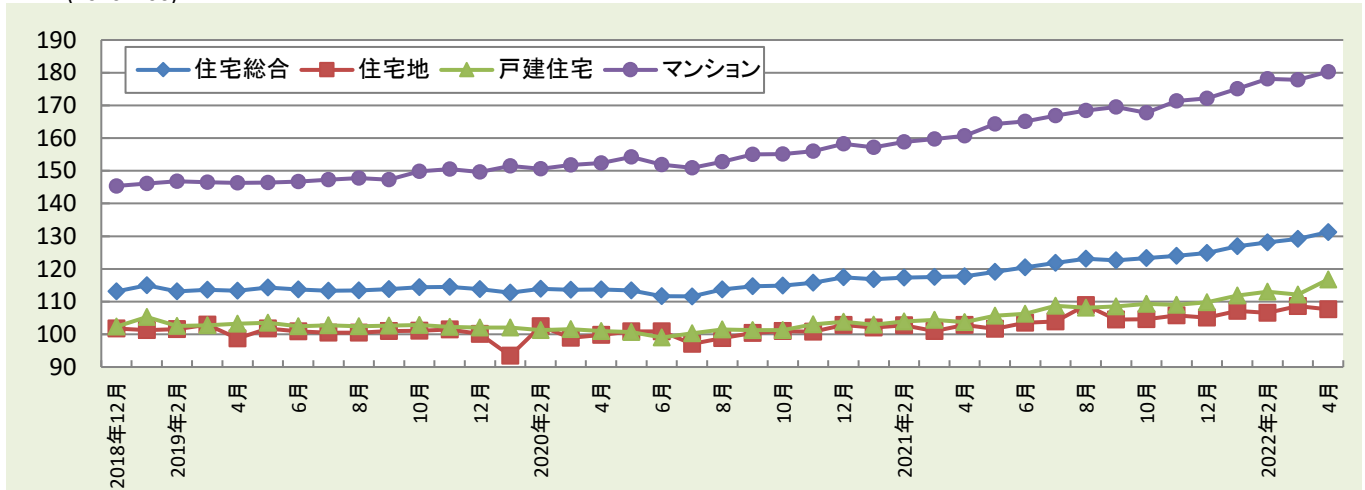
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 27.2%減 (3ヶ月ぶりに減)。契約率は 70.3%。平均価格は同 3.3%低下 (2ヶ月ぶりに低下)。

首都圏の中古マンション成約件数は前年同月比 7.88%減 (6ヶ月連続で減)。平均価格は同 9.2%上昇 (25ヶ月連続で上昇)。

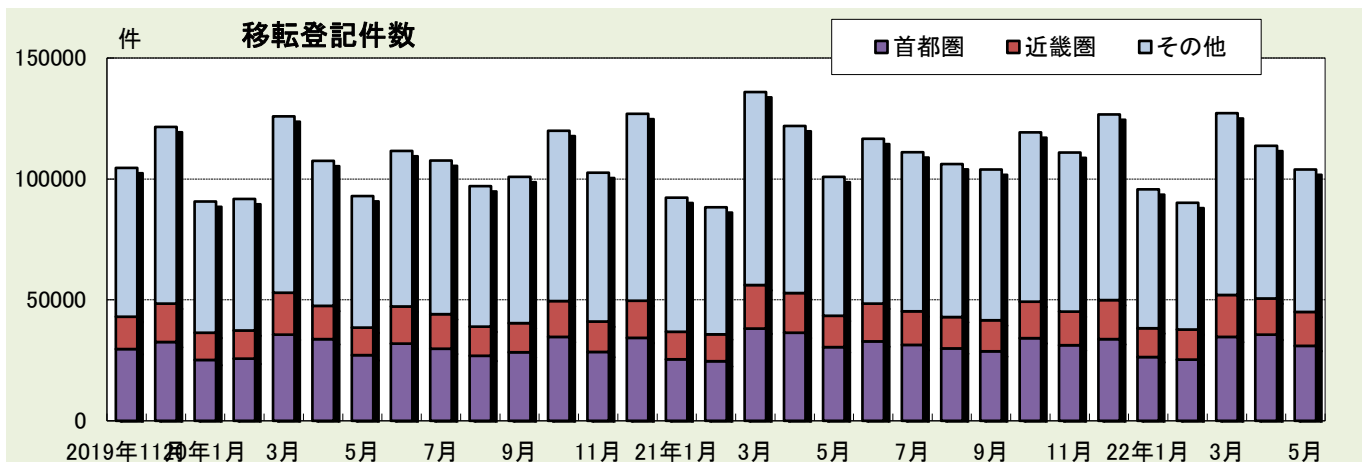
近畿圏の中古マンション成約件数は同 5.1%減 (2ヶ月連続で減)。平均価格は同 8.7%上昇 (17ヶ月連続で上昇)。

都心5区のオフィス賃料は 19ヶ月連続で前年同月比低下。オフィス空室率は前月比 0.02p上昇の 6.39% (2ヶ月ぶりに上昇)。

● 不動産価格指数<sup>\*2</sup>  
(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況<sup>\*8</sup>



\*1 帝国データバンク (DIは0~100、50が判断の分かれ目)

\*2 国土交通省

\*3 不動産経済研究所

\*4 不動産流通機構

\*5 アットホーム

\*6 三鬼商事

\*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

\*8 法務省

[今月の不動産経済](#)  
[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)